

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 防災担当
 内線: 875107

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P26	橋りょう修繕費			一般会計	土木費	道路橋りょう	橋りょう維持費	橋りょう修繕費		
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	道路法			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	9	
						分野施策	0102 大地震に備えたまちづくり	SDGsターゲット	9-1	
<p>1 事業概要</p> <p>橋梁の計画的な修繕を実施し、適切に保全することにより、道路利用者の安心安全を確保する。</p> <p>橋りょう補修事業 (アセット) 指定経費 △4,404千円</p> <p>事務費の節減等による減額補正</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 橋りょうの補修事業(アセット)指定経費 橋りょうの老朽化による損傷状況に応じた修繕を計画的に実施し、長寿命化を図る。</p> <p>イ 橋りょうの補修事業(アセット)指定経費外 横断歩道橋の老朽化による損傷状況に応じた修繕を計画的に実施し、長寿命化を図る。</p> <p>ウ 既設橋りょうの維持修繕 点検やパトロール等で発見した緊急的に補修が必要な橋りょうの維持修繕を実施する。</p> <p>エ 橋りょうの耐震性向上 大規模地震の発生に備え、橋りょうの耐震補強を実施する。</p> <p>事務費の節減等による減額補正 △4,404千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 主要地方道川越栗橋線(六万部橋)(久喜市)外96箇所</p> <p>イ 一般国道122号(鳩ヶ谷歩道橋)(川口市)外9箇所</p> <p>ウ 応急修繕(管内全域)</p> <p>エ 主要地方道川越坂戸毛呂山線(坂戸入西大橋)(坂戸市)外40箇所</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 埼玉県橋りょう保全計画に位置付けられた橋りょうを延命化することで、ライフサイクルコストを縮減する。</p> <p>イ 横断歩道橋維持管理計画に位置付けられた横断歩道橋を延命化することで、ライフサイクルコストを縮減する。</p> <p>ウ 道路災害を未然に防止することにより、地域生活の安心・安全に大いに寄与する。</p> <p>エ 橋りょうの耐震補強を完了させ、大規模地震に対応する。</p> <p>(4) その他</p> <p>負担対象: 新荒川大橋外3箇所 負担率 : 1/2</p> <p>対象経費: 新荒川大橋外3箇所の修繕及び耐震補強に要する経費 相手方 : 東京都外</p> <p>工期: 令和5年度～令和8年度</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地方道路等整備事業債 充当率90%</p> <p>交付税措置なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.6人=15,200千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,404	諸収入	県債					596	15,852,586	
現計額	15,856,990	46,675	15,756,000					54,315		

事業内訳書

事業名	橋りょう修繕費		
単位事業名	橋りょう補修事業（アセット 指定経費）（事務費）	予算額	△ 4,404千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	△5,000	—	県単独道路建設事業債
一般財源	596	—	
合計	△4,404	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△614	—	事務費の節減等による減
需用費	△2,922	—	事務費の節減等による減
役務費	△868	—	事務費の節減等による減
合計	△4,404	—	